

「都構想」 大阪府廃止をやめて 子どもたちに 笑顔をもたせよう



11.1
住民投票

少人数学級は大阪府存続でこそ

新型コロナでの分散登校で、一時的に少人数学級を体験しました。「先生と生徒の距離が縮まった」「不登校の子が教室に入れた」など、良さを実感。子どもに向きあうのは教員です。少人数学級実現のために教員を増やすことが必要です。「都構想」(大阪府廃止)で財政の少ない特別区になるとできません。



イラスト:長谷川義史さん

「都構想」(大阪府廃止)で子ども政策、切り捨て!?

- 18歳までのこども医療費助成
- こども相談センター
- 無償の小学校給食
- 塾代助成
- 市民プール(24→9カ所)
- 子育てプラザ(24→18カ所)



大阪市の今 小学校の統廃合危機

大阪府では、11学級以下の小学校は廃校される条例が可決。いまある市内の小学校の3分の1が対象になる。小規模校が多い生野区西部では、12の小学校を4つにする計画が進んでいる。地域住民の存続の声にも関わらず、すでに解体が始まった小学校もある。過密解消に対して逆行している。



緊急事態宣言の最中
工事強行の西生野小学校

日刊 vol.12
つくろ未来
OSAKA CITY

毎日、新しいニュースをお届けしています

